

特定非営利活動法人 由良野の森 2024年度事業報告書

事業の成果

2024年度、自然環境の保全再生事業 「ブナの森づくりプロジェクト」は、地元住民の方から提供いただいた桂ヶ森尾根部の山林を当法人で登記した。奥山再生事業を本格的に始めることが出来た。実際に着手すると多くの課題を見つけたが、多くの方の参加と協力を得て一步一步事業を進めている。また地元久万高原町で自然再生協議会「久万の森自然再生協議会（仮称）」準備会の設立など、着実に地元の方々にも理解いただき活動の広がりを感じながら法人の目的に向けて事業を進めていくことができた。昨年に続き、持続可能な発展の為の変容学習・人材育成事業では（ESD）として「森のおさんぽ」を2回開催し、活動の幅をもつことができた。以下写真を使い一部事業を紹介する。

（1）特定非営利活動に関する活動

1. 自然環境の保全再生事業

① ブナの森づくりプロジェクト

参加人数：延べ1,423名

事業費：8,539,588円

育苗

最も長期間育てている苗は2018年採取のものからあり、ずいぶん大きく育っている。福祉サービス事業所、NPO法人パステル工房さんに4月から11月の間苗の水遣りを委託し育てていただいた。



圃場の整備や車両の導入

植え替え作業などを雨天時でも行えるようにビニールハウスを設置。JAえひめエネルギー（株）オートパル松山さまに協力していただき、桂ヶ森への植栽活動等のための中古軽トラック、中古の8人乗り4輪駆動車を導入した。移動式小屋も完成。丈夫なキャスターを導入し取り付けのためのベース作成は、地元久万鉄工所さまに協力していただいた。地元森林組合の杉板を使い苗箱制作を地元の方に委託した。





播種

松山のフリースクール4団体や株式会社大東建託の皆さんと採取した「ブナ、ミズナラ」を、学生・企業・イタリアの団体の皆さんと共に、播種体験を行った。



施肥

育てている苗はかなり大きくなっているため施肥は簡単ではないが、会員やボランティアの皆さん協力を得てなんとかすべての苗に行うことが出来た。





プランターからポットへの植え替え

2023年は沢山の種子を採取でき発芽の良いもののが多かった。春から夏にかけ多くのボランティアの協力で沢山の苗の植え替えができた。高木に育つ小さな苗を直接触れる機会は貴重。生き物を育てる活動に关心を持っていただくよい機会になった。



植栽

桂ヶ森の尾根部(標高 1130m)に取得した山林に、自然再生のための植栽を開始した。二名川沿いの山林や由良野の森での植栽体験も行っている。





作業道の整備・植栽前の下刈り

桂ヶ森の植栽現場までは、林道や県有林などの作業道を利用し通っている。作業道は茨やススキが大きく茂るため何度も敷払いを行った。道はかなり荒れているため地元林業家の梶川林業様に協力していただき修理をしたので、天気が良く道が乾燥しているときは現場まで軽トラで行けるようになった。



防鹿柵・コガネムシによる苗の枯れ・苗の管理

桂ヶ森の防鹿柵は、伐倒した枝付きの幹をワインチで重ね、引き集め作っている。新しいこころみで試行錯誤しながら省力化して作る実験を行っている。また、今年は苗木に多くの枯れ発生した。たくさんの大きな苗を失った。原因はコガネムシで ポット内から幼虫やさなぎが発見されている。ミズナラは

今年もカビが発生したが、新しく試した納豆菌由来の殺菌材がうまく作用し復活している。薬剤の散布など苗の細かな管理は、会員の仲渡さんが行ってくださった。



種子採取

今年はブナが花をつけたが残念なことに採れたのは四国カルストの採取地の内一か所。それ以外は全く採取できなかった。可能な限り足を延ばし各地下見をしたが落ちていてもほぼすべて実が充実していないシナだつた。県立自然公園内（国有林）の原生林内に設置したシードトラップもほとんど種は入っておらず、種子採取の難しさを再確認した。



先進地視察とネットワークづくり

伊勢神宮の森と神宮司庁営林部・徳島県那賀町を先進地視察した。同時にネットワークづくり目的の見学なども行った。神宮司庁営林部では100年以上前からの宮域林の変遷や保全方法を学び、那賀町では橋本町長から標高域での広葉樹林化を、橋本山林では生物多様性に配慮した山林づくりを学んだ。



青空交流会・他団体との連携など

事業のさらなる発展を目指し、10月11月と育苗体験を主体とした交流会を開始した。また今年も多様な団体・企業との連携や協力を得て、幅広い層の方々と協働で活動することができた。





11.23 大東建託圃場見学



1.24 株式会社相愛様よりレーザー測量データをいただく



12.7 愛媛大学学生SDGs推進室桂ヶ森

植生調査

桂ヶ森の植生調査を愛媛大学の鍋島先生にお願いした。6月には北側斜面の自然林ではわずかに生き残ったミズナラも発見できた。



1.23 桂ヶ森植生調査



6.4 桂ヶ森でミズナラ確認

自然再生協議会の設立

自然再生協議会の設立を目的に2月21.22.23日に4回。12月14.15.16日に6回。合計20時間の説明会を開催した。12月26日に久万の森自然再生協議会（仮称）準備会を13人の町民の久万高原町の住民メンバーで立ち上げることができた。また、富山県敦賀で行われた自然再生協議会全国会議に参加。情報交換とネットワーク構築ができた。自然再生専門家会議委員長の鷺谷いづみ先生からもアドバイスを受けることができた。



2.21 自然再生協議会説明会



12.15 自然再生協議会設立準備説明会



11.14 自然再生協議会全国会議三万五胡



11.15 自然再生協議会全国会議出席

2. 持続可能な発展のための変容学習・人材育成事業

参加人数：17名

① ESD（持続可能な発展の為の教育）森のおさんぽ

事業費：51,420円

2024年度は、森のおさんぽの実施について検討を重ねた結果2回開催した。

NPO法人由良野の森の活動に関心のある方や、森を歩いてみたいという方、前年度参加された方など、それぞれの思いをもって由良野の森に来ていただき、森のおさんぽを楽しんでいただくことができた。東予や南予、遠方から参加された方も多かった。

当日は、オリエンテーションをしたあと由良野の森スタッフが先導しながら、オオモミジ周辺までゆっくりと歩き、季節の植物、カニやイモリ等小さな生き物を見つけたり、多様性を感じながら、心地良く森あるきを楽しむことができた。10月には、オオモミジの木の下でお茶会を開催したり、ネイチャーゲームを実施し、五感を使って自然を堪能することができた。各回とも、昼食を準備し、森を歩いたあとは、昼食を囲みながら、感想を共有した。

小さなお子さん連れの方の参加もあり、子どもから大人まで幅広い年代の方に森や自然を感じてもらうことができ、次世代へ残していくたい自然環境についても考える機会となった。



3 多様な文化や人との交流事業

本年度事業は行っていない。

4 持続可能な社会づくりに寄与する商品の開発、販売事業

本年度事業は行っていない。

5. 持続可能な社会づくりに関する調査研究実践事業

本年度事業は行っていない。

6. 持続可能な社会づくりに関する情報提供、普及啓発事業

本年度事業は行っていない。

7. 持続可能な社会づくりに関連する施設等の管理運営事業

本年度事業は行っていない。

8. その他、この法人の目的達成のために必要な事業

本年度事業は行っていない。